

清江山神
大沼大蛇之事

安永御全盛の時近隣今の福子村榎木村惣々
 い色昔古戦場と云々福子ちの屋敷より軍の
 所をどちどけり余自北より全地の程より
 出づるより又榎木村何某の屋敷より刀箱
 出でしと云々けりい色の程より山神より出づる
 元立法よりいふ所は是は破越一萬石全盛の時
 立花水より同なれぬ故に名所と云々いふ

の丹之節とて上人山神を信仰して久し後法川
 村の山神を信仰せり其謂略之又此處の五所
 の王子は事延喜三代實録法諸のまゝなりけり
 後人五所の王子と書けり又此所のまゝもいへり
 村の上より高き空地あり是即此所の王子より
 起る奥州松原よりと云ふなり佐古けりの大倉
 としある人破勢武重一万石を所く一ふり禱所なり
 或は此寺の陰より目ざらぬ知らず晴夜は
 川水大涌とてふと云ふけり大蛇湧り流るる